

畜産経営体質強化計画書 エクセルシステム

マニュアル_コンバート

公益社団法人 中央畜産会

平成29年9月

I. はじめに

【注意事項】

- ※コンバート前のファイルは、コピーして別の場所にバックアップとして保管しておいてください。
- ※他にエクセルが起動していない事を確認してから使用して下さい。

コンバートプログラム以外にエクセルが起動していると、正常に動作しない場合があります。
必ず他にエクセルが起動していない事を確認してから使用して下さい。

■コンバート対象システム

※H28年度版及び、H29改定版体質強化計画書エクセルシステムが対象となります。

資金		修復対象
畜産経営体質強化支援資金（酪農・肉用牛）	DC80	V1.0, V1.1, V1.2, V1.3, V2.0
畜産経営体質強化支援資金（養豚）	YC81	V1.0, V1.1, V1.2, V2.0

■対応内容

システム改定に加え、システム改修及び、V2.0からの不具合修正を行いました。

詳細は『Ⅲ. V2.1システム改定・改修及び、V2.0からの不具合修正内容』を参照してください。

	内容
改定	1) 貸付年度追加対応（平成29年度～平成33年度）
	2) 「2 経営の概況」 約定償還金算式変更
	3) 「4償還表」 4. 既往借入金年次別約定償還表(借換前) 4借換前償還表 4-1借換前償還表(その他) 4. 既往借入金年次別約定償還表(借換後) 4借換後償還表 4-1借換後償還表(その他)
改修	1) 修正入力欄の入力可能範囲変更 「3-1借換後の計画」 入力画面 ・修正入力を借換当年から可能とする
	2) 文字サイズ変更及び入力欄の拡張 「5-5借入希望者の位置づけと役割・①」 入力画面 「5-5借入希望者の位置づけと役割・②」 入力画面 「5-6事業計画」 入力画面 「5-7支援内容」 入力画面 「5-8実現のための取組内容」 入力画面 ・上記画面の「セルの書式設定」を操作可能とする ・上記画面の入力欄を拡張
不 具 合	1) 「5-8実現のための取組内容」 複数年度貸付対応漏れ
	2) 計画書印刷「3 資金計画」 3-(1) 借換後の計画 ・金利、借換額が表示 ・借換額計 (B) の行が表示 3-(2) 借換額の内訳 ・合計行が表示

■対応後バージョン

バージョンが「Ver2.1」となります。

I. はじめに

1. プログラムのダウンロード

ホームページからご利用資金のコンバートプログラムをダウンロードします。

※資金によってプログラムが異なります。対象となる資金のコンバートプログラムをダウンロードしてください。
デフォルトでは『C:¥Users¥[ユーザー名]¥Downloads』フォルダに保存されます。

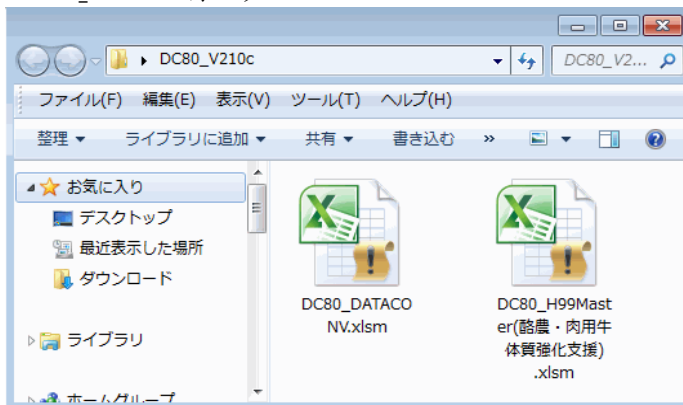
下図は畜産経営体質強化支援資金(酪農・肉用牛)を例としてデスクトップへ保存した場合です。



ダウンロードしたDC80_V210c.exeは圧縮されています。
DC80_V210c.exeをダブルクリックして、解凍してください。
※解凍先の指定が求められた場合はデスクトップを指定してください。
デスクトップに DC80_V210c というフォルダができますので、
DC80_V210cフォルダを開いてください。

2. コンバートプログラム内容

DC80_V210cフォルダ



1) コンバートプログラム (DC80_DATACONV.xlsm)

コンバートプログラムです。

2) コンバートマスター (DC80_H99Master(酪農・肉用牛体質強化支援).xlsm)

コンバート元となる新システムです。

新規に貸付を行なう場合にもご利用になれます。

(ホームページ掲載のマスターファイルと同じものです。)

3. 作業手順

作業1. コンバート処理

詳細は『Ⅱ. コンバート手順』を参照してください。

Ⅱ. コンバート手順

このコンバートプログラムは、同一フォルダの中にある既存の計画書エクセルシステムから改訂後の計画書エクセルシステムへのデータ移行処理を行います。

※計画年に関係なく、コンバートが行えます。

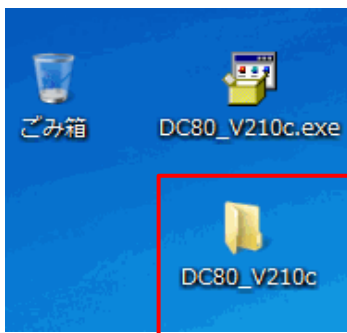
【重要:作業を行っていただく前に】

起動中のシステム(エクセル等)は全て終了してください。

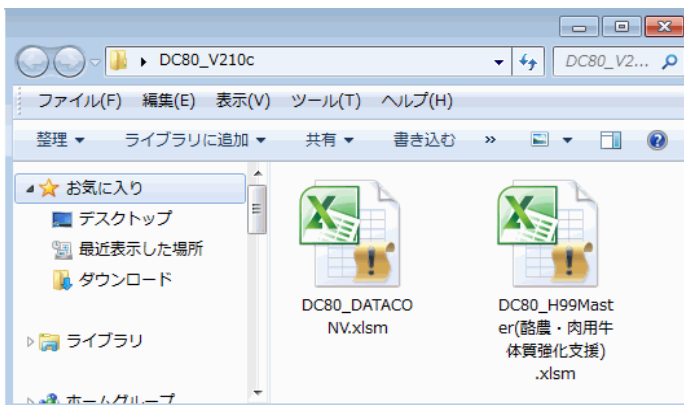
1. コンバートプログラムを「対象フォルダへ」コピーします

この手順書ではコンバートプログラムの解凍先を『デスクトップ』、コピー先フォルダを『C:¥A農協』として説明しています。

1) デスクトップ上のDC80_V210cフォルダをダブルクリックし、開いてください。



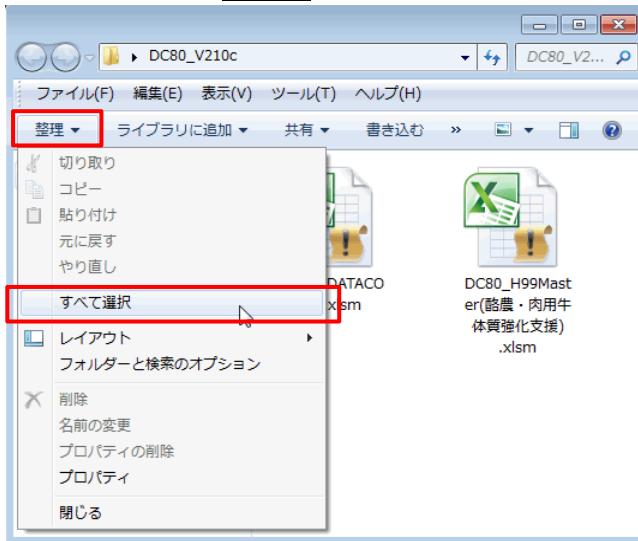
2) 「DC80_V210c」フォルダには、畜産経営体質強化支援資金(酪農・肉用牛)エクセルシステム用のコンバートシステムが入っています。



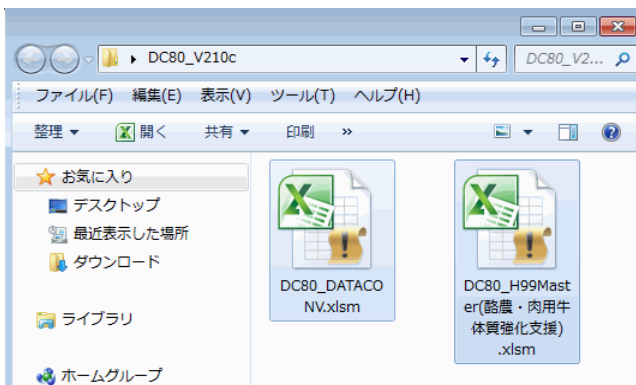
II. コンバート手順

3) コンバートシステムのコピーを行います。

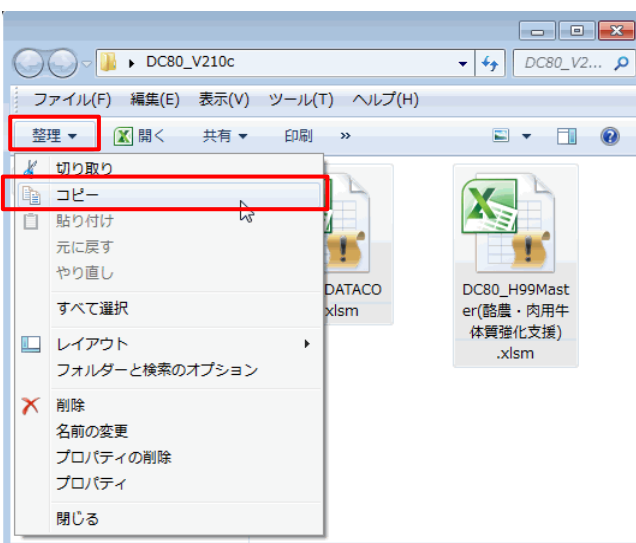
ウィンドウ左上の『整理▼』ボタンをクリックし、開いたメニュー内の『すべて選択』をクリックしてください。



4) 下図のように、2つのファイルが青い四角で囲まれた状態であることを確認してください。



5) ウィンドウ左上の『整理▼』ボタンをクリックし、開いたメニュー内の『コピー』をクリックしてください。

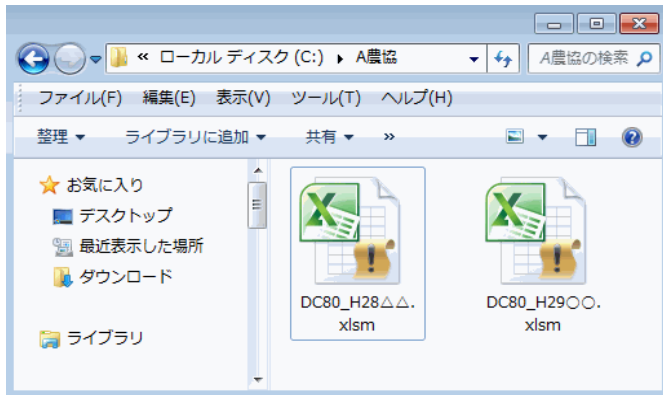


II. コンバート手順

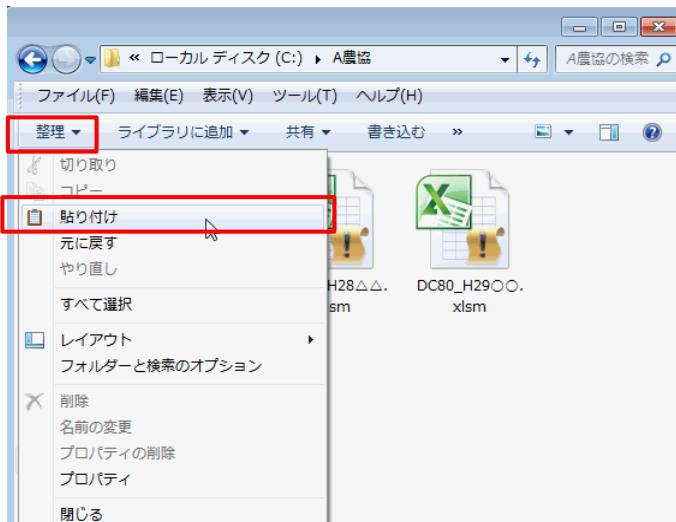
6) コピー先のフォルダを開きます。

畜産経営体質強化支援資金(酪農・肉用牛)エクセルシステムがインストールされているフォルダを開きます。

※この例では平成28年と平成29年の2つの計画書システムが存在することとしています。

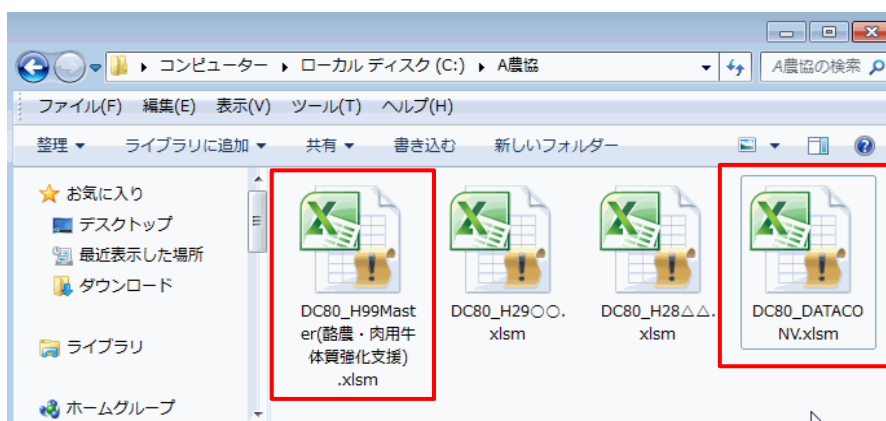


7) ウィンドウ左上の『整理▼』ボタンをクリックし、開いたメニュー内の『貼り付け』をクリックしてください。ファイルのコピーが開始されます。



8) 貼り付け結果

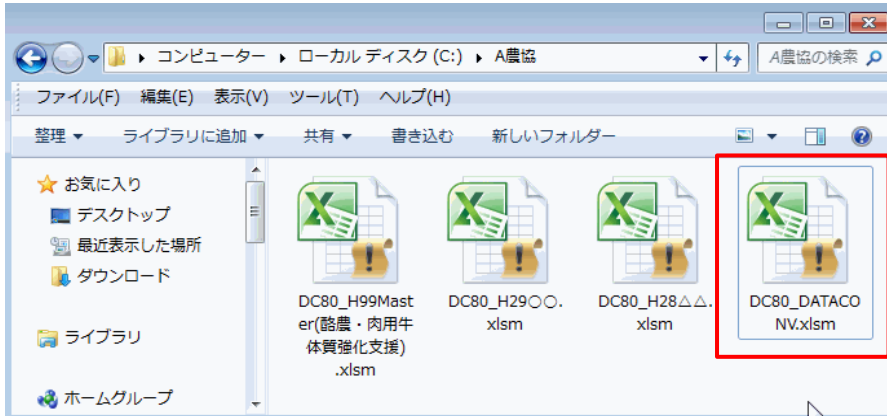
下図の様に2つのファイルが『A農協』フォルダの中にコピーされたことを確認してください。



II. コンバート手順

2. コンバートシステムの実行

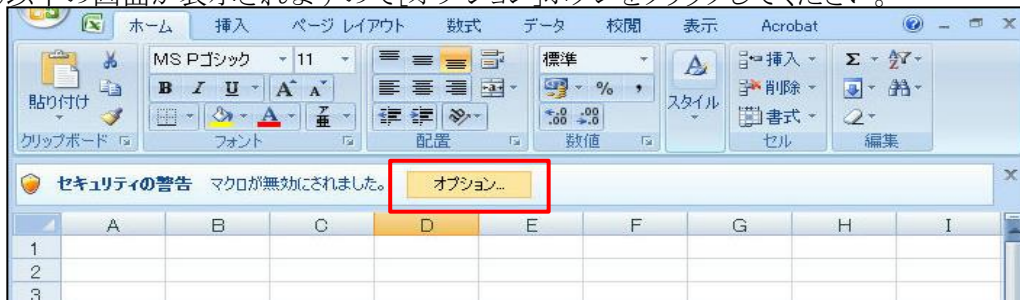
1) A農協フォルダにコピーした『DC80_DATACONV.xlsm』をダブルクリックで起動してください。



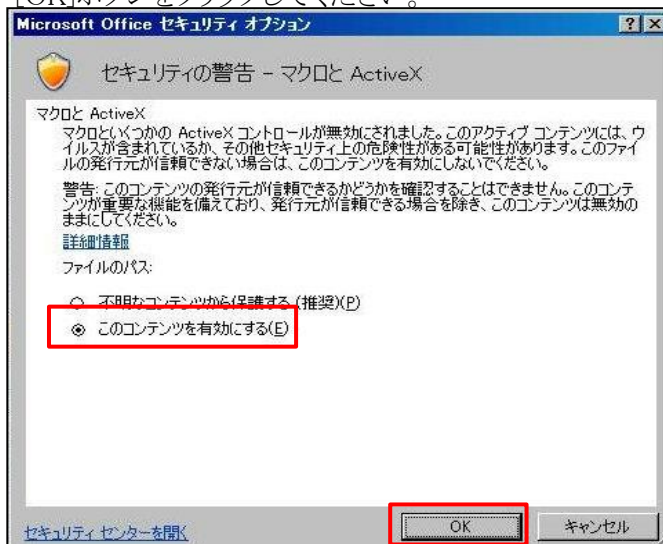
2) マクロを有効にします。

(1) Excel2007、Excel2010をお使いの場合

①以下の画面が表示されますので「オプション」ボタンをクリックしてください。



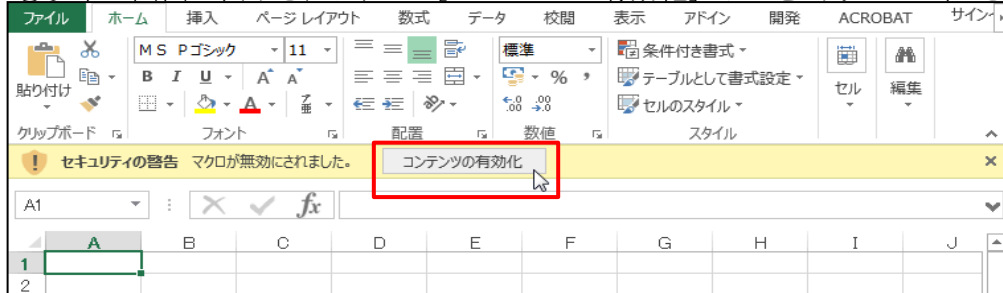
②セキュリティの警告画面が表示されますので、「このコンテンツを有効にする(E)」にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックしてください。



II. コンバート手順

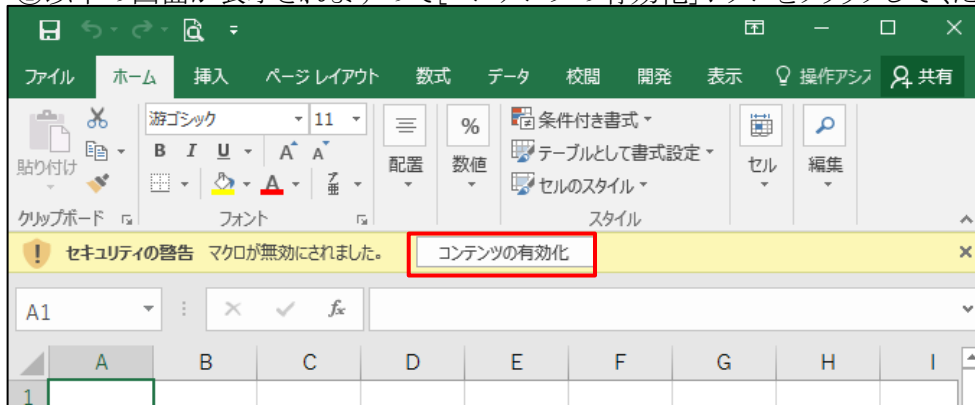
(2)Excel2013をお使いの場合

①以下の画面が表示されますので[コンテンツの有効化]ボタンをクリックしてください。

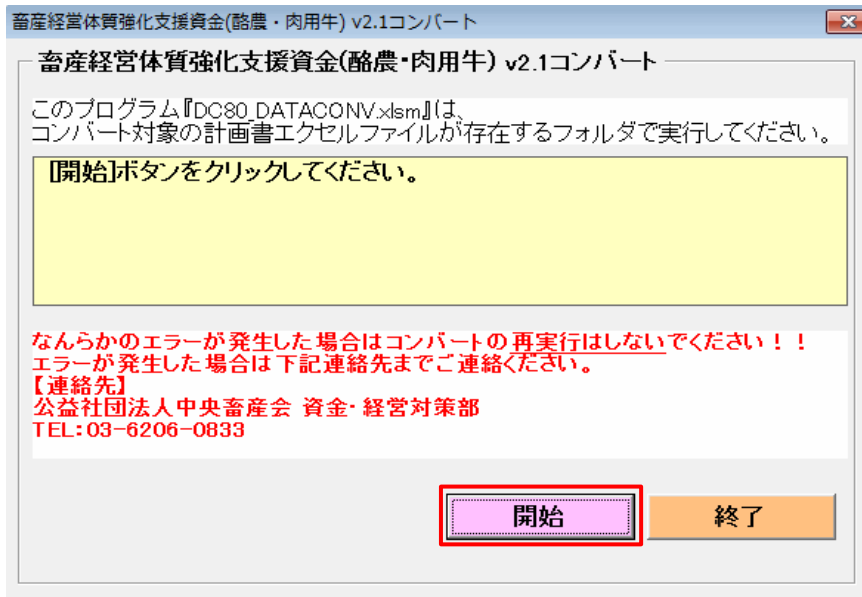


(3)Excel2016以降をお使いの場合

①以下の画面が表示されますので[コンテンツの有効化]ボタンをクリックしてください。



3)以下の画面が表示されますので[開始]ボタンをクリックしてください。



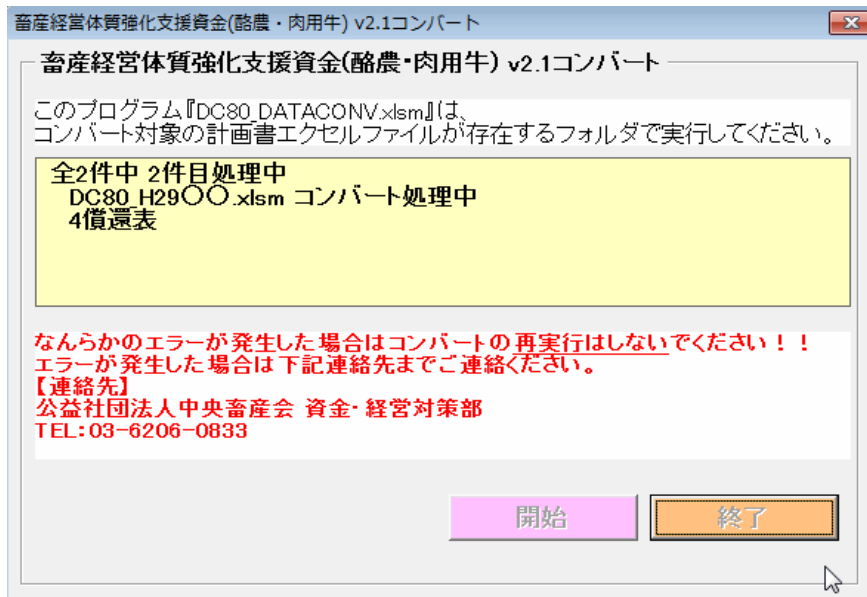
II. コンバート手順

4) コンバート処理が開始されます。

このプログラムは同一フォルダの中に存在する全ての

畜産経営体質強化支援資金(酪農・肉用牛)エクセルシステムを検索しコンバートを行います。

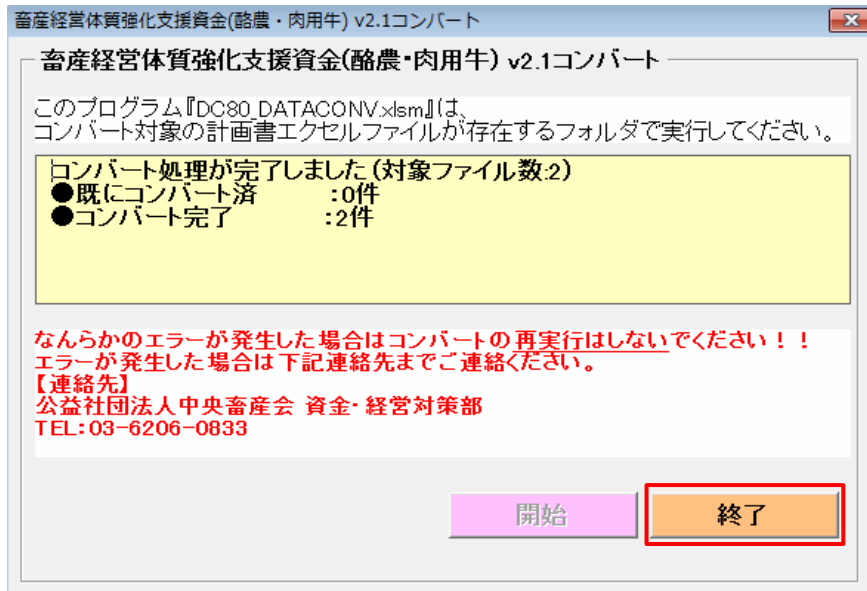
エラーの原因となりますので、処理実行中は操作を行わないよう、お願い致します。



5) 処理が終了すると『コンバート処理が完了しました(対象ファイル数:n)』メッセージが表示されます。

[終了]ボタンをクリックしてください。

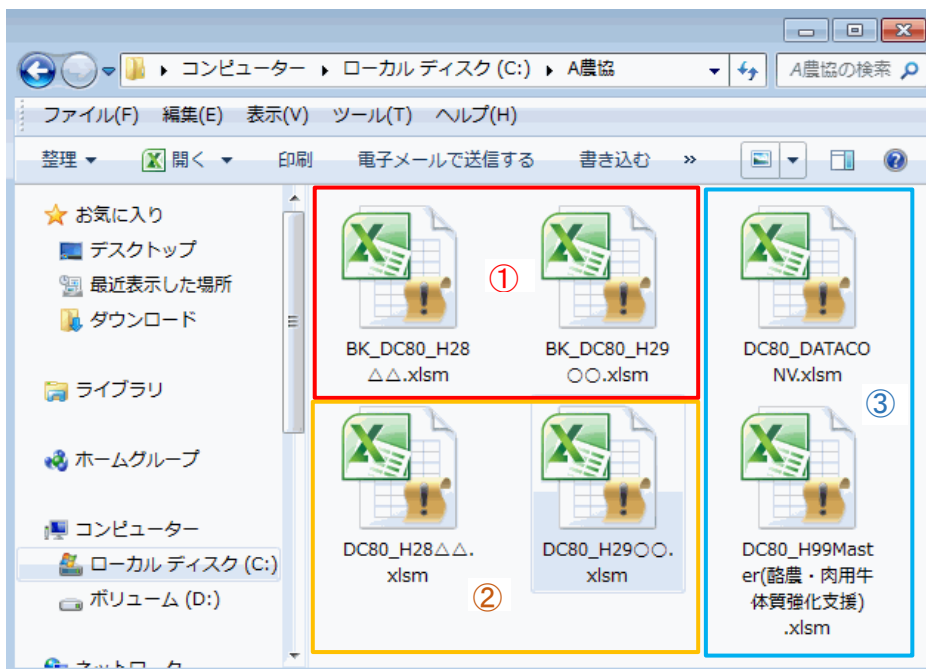
※この例では対象ファイルが2本なので[対象ファイル数:2]と表示されます。



Ⅱ. コンバート手順

3. コンバート結果内容

コンバート後のフォルダ内容は下図の様になります。



- ① BK_DC80_H28△△.xlsm
BK_DC80_H29○○.xlsm
コンバート前の旧計画書エクセルシステムファイルです、念のため保管してあります。
- ② DC80_H28△△.xlsm
DC80_H29○○.xlsm
コンバートシステムで変換された計画書エクセルシステムファイルです。
- ③ DC80_H99Master(酪農・肉用牛体質強化支援).xlsm
DC80_DATACONV.xlsm
コンバートシステムファイルです、コンバートが正常に完了しましたら削除してください。

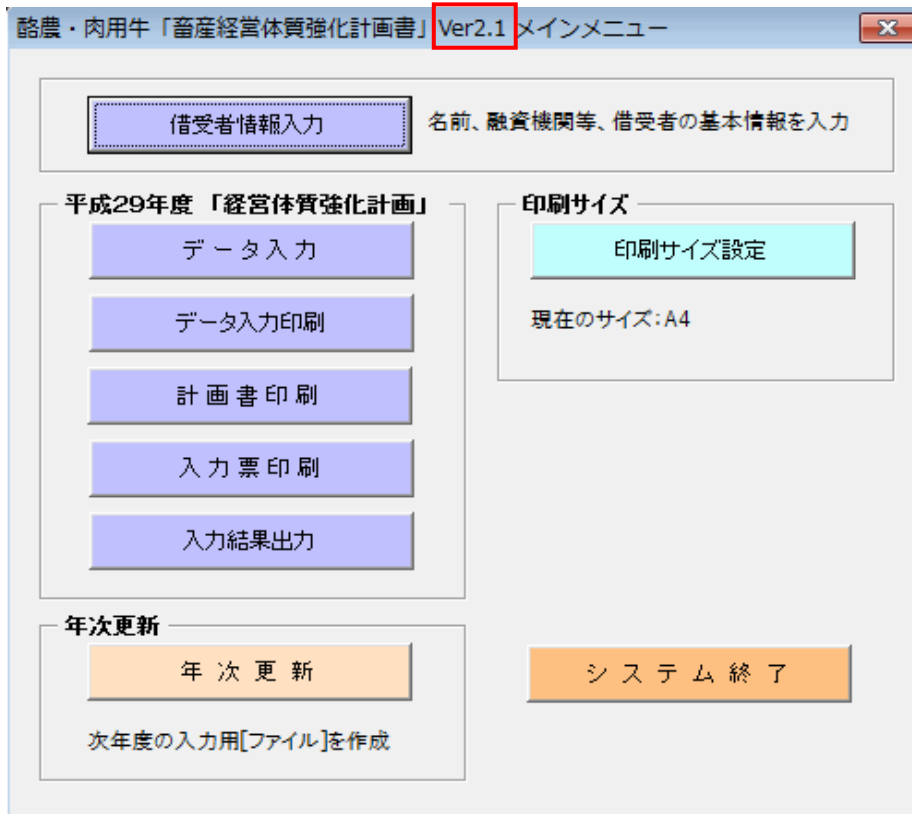
Ⅱ. コンバート手順

4. バージョン確認方法

コンバート終了バージョンの確認方法は以下の通りです。

1) 計画書エクセルシステムファイルを起動してください。

Ver2.1 と表示されているのが改訂版となります。



以上でコンバート作業は完了です、ご協力ありがとうございました。

Ⅲ. V2.1システム改定・改修及び、V2.0からの不具合修正内容

改定1)貸付年度追加対応（平成29年度～平成33年度）

1.改定の内容

平成29～33年貸付の入力欄を追加致します。

「3-1借換後の計画」入力画面
「3-2借換額内訳」入力画面
「5-3.4借換資金の内容・必要支出」入力画面
計画書印刷「3 資金計画」
計画書印刷「5 畜産経営体質強化計画（総括表）」個人/法人

◆対象シート

入力：3-1借換後の計画
入力：3-2借換額内訳
入力：5-3.4借換資金の内容・必要支出
印刷：3-1借換後の計画（印刷）
印刷：5体質強化計画・個人（印刷）
印刷：5体質強化計画・法人（印刷）

改定2)「2 経営の概況」約定償還金算式変更

1.改定の内容

「約定償還金」「借換後 畜産経営体質強化支援資金の約定償還金」
「借換後 借換を行わない債務の約定償還金」の算式を変更します。

「5 畜産経営体質強化計画 2 経営の概況」個人/法人

◆対象シート

5体質強化計画・個人（印刷）
5体質強化計画・法人（印刷）

入力：5-2経営の概況・個人、法人

※借換年度

約定償還金を借換前の総合計（体質強化支援資金の内容も含む）とする。

※借換前の総合計に含まれる体質強化支援資金の内容は、借換前のもののみです。

例：28年、29年、30年貸付を受けている方の30年計画の場合
28年、29年の値のみ参照

約定償還金の参照

「2 経営の概況」個人経営[⑱約定償還金 元金]及び法人経営[⑲約定償還金 元金]は
「4. 借入金別約定償還表(借換前)」の「総合計 元金」を参照します。

「2 経営の概況」個人経営[⑱約定償還金 計]及び法人経営[⑲約定償還金 計]は
「4. 借入金別約定償還表(借換前)」の「総合計 元利息」を参照します。

「2 経営の概況」個人経営[⑱約定償還金 利息]及び法人経営[⑲約定償還金 利息]は
「約定償還金 計」-「約定償還金 元金」で算出します。

例：個人

2 経営の概況

		項目	
状 況	①計 (⑤+⑧-⑨-⑩)		千円
	②差引金額 (④-①)		千円
	③所得税		千円
	④資産処分・預貯金充当		千円
	⑤家計費		千円
	⑥償還財源 (⑫-⑬+⑭-⑮)		千円
	⑦修正償還財源 (欄外参照)		千円
	⑧約定償還金	元金	千円
		利息	千円
		計	千円
⑨新しい経営展開に伴い必要となる支出		千円	
⑩差引 (⑦-⑧-⑨)		千円	
⑪畜産経営体質強化支援資金借入額			千円
借 換 後	⑫ 畜産経営体質強化支援 資金の約定償還金	元金	千円
		利息	千円
		計	千円
	⑬ 借換を行わない債務の 約定償還金	元金	千円
		利息	千円
		計	千円
⑭ 差引 (⑪-⑬-⑫-⑯)		千円	

4. 既往借入金年次別約定償還表 (借換前)

資 金 名	番 号	借入額	借入期限 (〇年～〇年)	(うち 据置期間 〇年)	利 率	元 金 元 金
合 計		0				元 金 元 金
体質強化支援資金 (28年～33年分)		0				元 金 元 金
総 合 計		0				元 金 元 金

買掛未払金(営農勘定・預託勘定等の貸越額を含む)

畜産経営体質強化支援資金の約定償還金の参照

※現在の仕様と同様です。「3-1借換後の計画」より参照します。

例：個人

2 経営の概況

		項目	
状 況	①計 (⑤+⑧-⑨-⑩)		千円
	②差引金額 (④-①)		千円
	③所得税		千円
	④資産処分・預貯金充当		千円
	⑤家計費		千円
	⑥償還財源 (⑫-⑬+⑭-⑮)		千円
	⑦修正償還財源 (欄外参照)		千円
	⑧約定償還金	元金	千円
		利息	千円
		計	千円
⑨新しい経営展開に伴い必要となる支出		千円	
⑩差引 (⑦-⑧-⑨)		千円	
⑪畜産経営体質強化支援資金借入額			千円
借 換 後	⑫ 畜産経営体質強化支援 資金の約定償還金	元金	千円
		利息	千円
		計	千円
	⑬ 借換を行わない債務の 約定償還金	元金	千円
		利息	千円
		計	千円
⑭ 差引 (⑪-⑬-⑫-⑯)		千円	

3. 資金計画・(1)借換後の計画

		区 分			
体 質 強 化 支 援 資 金 借 換 額 (B)	28年	上段 前年度計画	借換額	計 算	元 金 (元 金)
		(%)		修正入力	元 金 (元 金)
	29年	上段 前年度計画	借換額	計 算	元 金 (元 金)
		(%)		修正入力	元 金 (元 金)
	30年	上段 前年度計画	借換額	計 算	元 金 (元 金)
		(%)		修正入力	元 金 (元 金)
	31年	上段 前年度計画	借換額	計 算	元 金 (元 金)
		(%)		修正入力	元 金 (元 金)
	32年	上段 前年度計画	借換額	計 算	元 金 (元 金)
		(%)		修正入力	元 金 (元 金)
	33年	上段 前年度計画	借換額	計 算	元 金 (元 金)
		(%)		修正入力	元 金 (元 金)
計		0		(B)	
償還額計					(C)=(A)+(B)

借換を行わない債務の約定償還金の参照

「2 経営の概況」個人経営[③借換を行わない債務の約定償還金 元金]及び法人経営[④借換を行わない債務の約定償還金 元金]は

「4. 借入金別約定償還表(借換後)」の「合計 元金」を参照します。

「2 経営の概況」個人経営[③借換を行わない債務の約定償還金 計]及び法人経営[④借換を行わない債務の約定償還金 計]は

「4. 借入金別約定償還表(借換後)」の「合計 元利金」を参照します。

「2 経営の概況」個人経営[③借換を行わない債務の約定償還金 元金]及び法人経営[④借換を行わない債務の約定償還金 元金]は

「借換を行わない債務の約定償還金 計」-「借換を行わない債務の約定償還金 元金」で算出します。

例：個人

2 経営の概況

		項目	
状 況	①計(⑤+⑧-⑨-⑩)		千円
	②差引金額(④-①)		千円
	③所得税		千円
	④資産処分・預貯金充当		千円
	⑤家計費		千円
	⑥償還財源(②-③+④-⑤)		千円
	⑦修正償還財源(欄外参照)		千円
	⑧約定償還金	元金	千円
		利息	千円
		計	千円
⑨新しい経営展開に伴い必要となる支出		千円	
⑩差引(⑦-⑧-⑨)		千円	
⑪畜産経営体質強化支援資金借入額			千円
借 換 後	⑫畜産経営体質強化支援資金の約定償還金	元金	千円
		利息	千円
		計	千円
	⑬借換を行わない債務の約定償還金	元金	千円
		利息	千円
⑭差引(⑪-⑫-⑬)		千円	

4. 既往借入金年次別約定償還表(借換後)

資 金 名	番 号	借入額	借入期限 (〇年~〇年)	(うち 据置期間 〇年)	利 率	
合 計		0				元利金 元金
体質強化支援資金 (28年~33年分)		0				元利金 元金
総 合 計		0				元利金 元金
買掛未払金(宮農勘定・預託勘定等の貸越額を含む)						

改定3) 「4償還表」

1. 改定の内容

「5 畜産経営体質強化計画（総括表）」の約定償還金の算式変更に伴い、「4 償還表」が「借換前」「借換後」の入力対応を行います。

- 「4. 既往借入金年次別約定償還表(借換前)」入力画面
- 「4. 既往借入金年次別約定償還表(借換後)」入力画面

◆対象シート

- 入力：4借換前償還表
- 入力：4-1借換前償還表(その他)
- 入力：4借換後償還表
- 入力：4-1借換後償還表(その他)
- 印刷：4-1借換前償還総括表(印刷)
- 印刷：4-2借換前償還総括表(印刷)
- 印刷：4-1借換後償還総括表(印刷)
- 印刷：4-2借換後償還総括表(印刷)

【前】

データ入力メニュー

1. 経営体質強化の計画

- 畜産経営体質強化の計画
- 生活の計画
- 新規投資所要資金内訳
- 買掛未払金
- 家畜・飼料の棚卸額
- 流通資産

2. 経営収支計画

- 償還財源算出表

3. 資金計画

- 借換後の計画
- 借換額内訳

4. 借入金別約定償還表

- 年次別約定償還表
- その他入力

5. 畜産経営体質強化計画

- 経営体の概要
- 経営の概況
- 借換資金の内容・必要支出
- 借入希望者の位置づけと役割
- 事業計画
- 支援内容
- 実現のための取組内容

保存

保存後メニューへ

メインメニューへ

【後】

データ入力メニュー

1. 経営体質強化の計画

- 畜産経営体質強化の計画
- 生活の計画
- 新規投資所要資金内訳
- 買掛未払金
- 家畜・飼料の棚卸額
- 流通資産

2. 経営収支計画

- 償還財源算出表

3. 資金計画

- 借換後の計画
- 借換額内訳

4. 借入金別約定償還表

- 借換前
 - 年次別約定償還表
 - その他入力
- 借換後
 - 年次別約定償還表
 - その他入力

5. 畜産経営体質強化計画

- 経営体の概要
- 経営の概況
- 借換資金の内容・必要支出
- 借入希望者の位置づけと役割
- 事業計画
- 支援内容
- 実現のための取組内容

保存

保存後メニューへ

メインメニューへ

Ⅲ. V2.1システム改定・改修及び、V2.0からの不具合修正内容

改修1)修正入力欄の入力可能範囲変更

1. 改修の内容

「3-1借換後の計画」入力画面

- ・修正入力を借換当年から可能とする

◆対象シート

入力：3-1借換後の計画

【前】

区 分				26年	27年	28年	29年	30年	31年	32年	33年	
				実績	実績	実績	計画	計画	計画	計画	計画	
体質強化 支援資金 借換額(B)	28年	借換額	計算	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	上段 前年度計画		修正入力	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	(%)											
	29年	借換額	計算	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	上段 前年度計画		修正入力	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	(%)											
	30年	借換額	計算	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	上段 前年度計画		修正入力	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	(%)											
	31年	借換額	計算	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	上段 前年度計画		修正入力	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	(%)											
	32年	借換額	計算	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	上段 前年度計画		修正入力	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	(%)											
	33年	借換額	計算	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	上段 前年度計画		修正入力	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	(%)											
計	0		(B)	0	0	0	0	0	0	0	0	

【後】

区 分				26年	27年	28年	29年	30年	31年	32年	33年	
				実績	実績	実績	計画	計画	計画	計画	計画	
体質強化 支援資金 借換額(B)	28年	借換額	計算	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	上段 前年度計画		修正入力	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	(%)											
	29年	借換額	計算	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	上段 前年度計画		修正入力	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	(%)											
	30年	借換額	計算	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	上段 前年度計画		修正入力	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	(%)											
	31年	借換額	計算	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	上段 前年度計画		修正入力	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	(%)											
	32年	借換額	計算	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	上段 前年度計画		修正入力	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	(%)											
	33年	借換額	計算	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	上段 前年度計画		修正入力	元利金 (元金)	0	0	0	0	0	0	0	0
	(%)											
計	0		(B)	0	0	0	0	0	0	0	0	

Ⅲ. V2.1システム改定・改修及び、V2.0からの不具合修正内容

改修2) 文字サイズ変更及び入力欄の拡張

1. 改修の内容

- 「5-5借入希望者の位置づけと役割・①」入力画面
- 「5-5借入希望者の位置づけと役割・②」入力画面
- 「5-6事業計画」入力画面
- 「5-7支援内容」入力画面
- 「5-8実現のための取組内容」入力画面
 - ・上記画面の「セルの書式設定」を操作可能とする
 - ・上記画面の入力欄を拡張

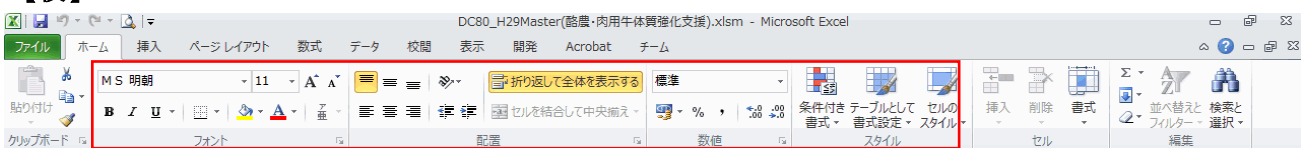
◆対象シート

- 入力：5-5借入希望者の位置づけと役割・①
- 入力：5-5借入希望者の位置づけと役割・②
- 入力：5-6事業計画
- 入力：5-7支援内容
- 入力：5-8実現のための取組内容

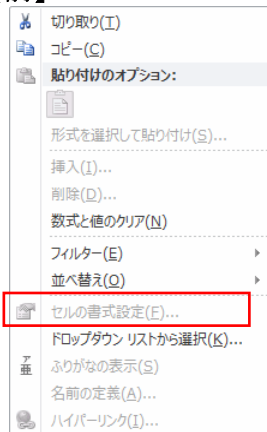
【前】



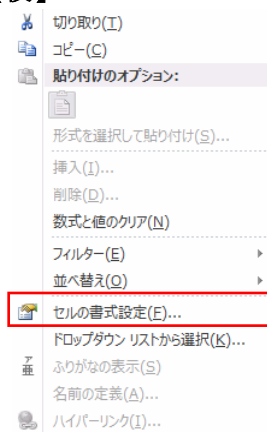
【後】



【前】



【後】



Ⅲ. V2.1システム改定・改修及び、V2.0からの不具合修正内容

不具合1) 「5-8実現のための取組内容」複数年度貸付対応漏れ

1. 不具合修正の内容

「5-8実現のための取組内容」 (1) (2) の年が複数貸付年に対応しておらず28年貸付の年度しか表示されません。

◆対象シート

入力：5-8実現のための取組内容

印刷：5-4実現のための取組内容(印刷)

⇒「改修 2)文字サイズ変更及び入力欄の拡張」の為、利用停止

入力：5-8実現のための取組内容

(1) 定量的な成果目標

	【誤】	【正】
C5	=D5-1	現状値
D5	= '3-1借換後の計画' !\$D\$15	1
E5	=D5+1	=D5+1
F5	=E5+1	=E5+1
G5	=F5+1	=F5+1
H5	=G5+1	=G5+1

	【誤】	【正】
C6	実績 (現状値)	セルの書式設定：[DBNum3]" (平成"0"年) "
D6	計画	(平成0年) ←初期値入力
E6	計画	(平成0年) ←初期値入力
F6	計画	(平成0年) ←初期値入力
G6	計画	(平成0年) ←初期値入力
H6	計画	(平成0年) ←初期値入力

(2) 成果目標を実現するための取組の内容

	【誤】	【正】
B13	= '3-1借換後の計画' !\$D\$15	1
B14	計画	消す
B15	=B13+1	=B13+1
B16	計画	消す
B17	=B15+1	=B15+1
B18	計画	消す
B19	=B17+1	=B17+1
B20	計画	消す
B21	=B19+1	=B19+1

【誤】

	A	B	C	D	E	F	G	H
1		メニューへ	印刷	[経営体質強化計画]PDF出力				
2	8 定量的な成果目標及び成果目標を実現するための取組の内容							
3	(1) 定量的な成果目標							
4		成 果 目 標						
5	成果指標	27年目 実績(現状値)	28年目 計画	29年目 計画	30年目 計画	31年目 計画	32年目 計画	
6	○○○							
7	○○○							
8	○○○							
9	※ 成果指標の内容並びに定量的な成果目標の現状値及び借換えの年から起算して5年目までの毎年の目標値を記入する。							
10	(2) 成果目標を実現するための取組の内容							
11		取 組 内 容						
12	28年目 計画							
13	29年目 計画							
14	30年目 計画							
15	31年目 計画							
16	32年目 計画							
17	※ 成果目標の達成のための毎年の取組内容を具体的に記入する。							

【正】

	A	B	C	D	E	F	G	H
1		メニューへ	印刷	[経営体質強化計画]PDF出力				
2	8 定量的な成果目標及び成果目標を実現するための取組の内容							
3	(1) 定量的な成果目標							
4		成 果 目 標						
5	成果指標	現状値 (平成〇年)	1年目 (平成〇年)	2年目 (平成〇年)	3年目 (平成〇年)	4年目 (平成〇年)	5年目 (平成〇年)	
6	○○○							
7	○○○							
8	○○○							
9	※ 成果指標の内容並びに定量的な成果目標の現状値及び借換えの年から起算して5年目までの毎年の目標値を記入する。							
10	(2) 成果目標を実現するための取組の内容							
11		取 組 内 容						
12	1年目							
13	2年目							
14	3年目							
15	4年目							
16	5年目							

Ⅲ. V2.1システム改定・改修及び、V2.0からの不具合修正内容

不具合2) 計画書印刷「3 資金計画」一部項目漏れ

1. 不具合修正の内容

計画書印刷「3 資金計画」

3-(1) 借換後の計画

- ・金利、借換額が表示
- ・借換額計 (B) の行が表示

3-(2) 借換額の内訳

- ・合計行が表示

◆対象シート

印刷：3-1借換後の計画（印刷）

【誤】

3. 資金計画
(1)借換後の計画

区分		
既往借入 年次別 約定償還額	系統・ その他資金	対象資金
	非対象資金	
計 (A)		
体質強化 支援資金 借換額(B)	28年	元利金
	(0.00 %)	(元金)
	29年	元利金
	(0.00 %)	(元金)
	30年	元利金
	(0.00 %)	(元金)
	31年	元利金
(0.00 %)	(元金)	
32年	元利金	
(0.00 %)	(元金)	
33年	元利金	
(0.00 %)	(元金)	
償還額計 (C)=(A)+(B)		
償還財源	前期繰越 (a)	
	償還財源 (T)	
計 (D)=(a)+(T)		
差引 (E)=(D)-(C)		
対策額 (F)		
実質過不足 (G)=(E)+(F)		

上段 前年度計画を参照

計(B) が表示されていない

【正】

3. 資金計画
(1)借換後の計画

区分		
既往借入 年次別 約定償還額	系統・ その他資金	対象資金
	非対象資金	
計 (A)		
体質強化 支援資金 借換額(B)	28年	元利金
	(%)	(元金)
	29年	元利金
	(%)	(元金)
	30年	元利金
	(%)	(元金)
	31年	元利金
(%)	(元金)	
32年	元利金	
(%)	(元金)	
33年	元利金	
(%)	(元金)	
計 0 (B)		
償還額計 (C)=(A)+(B)		
償還財源	前期繰越 (a)	
	償還財源 (T)	
計 (D)=(a)+(T)		
差引 (E)=(D)-(C)		
対策額 (F)		
実質過不足 (G)=(E)+(F)		

下段 当年度計画を参照

計(B) を表示

(2)畜産経営体質強化支援借換額の内訳

(単位：千円)

区分	農業近代 化資金	公庫資金	その他 制度資金	農協系統 一般資金	一般金融 機関資金	計
28年度						
29年度						
30年度						
31年度						
32年度						
33年度						

合計 が表示されていない

(2)畜産経営体質強化支援借換額の内訳

(単位：千円)

区分	農業近代 化資金	公庫資金	その他 制度資金	農協系統 一般資金	一般金融 機関資金	計
28年度						0
29年度						0
30年度						0
31年度						0
32年度						0
33年度						0
合計	0	0	0	0	0	0

合計 を表示